

談語会通信

才39号

東京蜘蛛談語会

「夕されば野べの秋風身にしめて鶴なくせり深草の里」(藤原俊成)
の里とはトリノアソダテシもほとんど卯のうしつくりドワリ、ジョ
ロウグモガそろそろ産卯に入ろうとしています。
みなさんのところぞはいががぞはうか。お便りをお待ちして
おります。

・新入会員

井上房枝 テ226 横浜市、緑区、池辺町2,947

tel. 045-931-3121

・住所変更

蓮沼克己 テ362 上尾市大字上1322の1 (練→埼玉へ)

tel. 0487-74-3608

・住居表示変更

林秀幸 テ244 横浜市、戸塚区、平戸1-21-20

秋の採集会・観察会 10月17日(日)

神武寺

(京浜急行 神武寺駅に午前10時 集合)

雨天 決行

責任者 松浦祐司さん ざいわ 044-422-2842

〒211 川崎市 中原区 菊宿 612

- ・合同例会は、今年は 11月21日 までは
11月28日に行う予定です

・神奈川の井上エレベリ

「清澄山での一コマ」

井上房枝

9月8日～9月間、サトウ人を
りムシの金木先輩も採集へと
加藤さしの金木の先輩採集へと
するたまに、晴れました。雨まし
午前中(電車の中)天気が悪く、晴
たが、天津駅にて、晴れました。
採集には良い天気になりました。

清澄山に着くと、さあそこへ
とほじめることになりまして、
午前中の雨のためか、地面がひじ
ょうに、しみ、ぼくな、とりで、
おしゃりどおりにいきませんでした。

次の日、午前3時頃に雨が降
たため、さうの採集もじめどう
ござつとうみを採集することができ
ました。

私は、この日ために、孔(木の)
幼体を探集する所を木集(アヘン)に
歩いていた。幼体を探集する所を木集
た。まだ幼体を捕まえます。成体まで
成体まで大きくなります。今から1年後
おもしろいと思います。今から1年後

9月30日現在。

元気に生きているどうぞ。

・東京の古浜エレベリ

「コクウヅモとハバチ」

古浜 隆

地と墓ぼうようが、風眞寺けのようが、
と網(アシ)に上の手(ハンド)いすと在所ともが脚と
の)バコ(ハビ)てど不、もと千一、よをいかと例がガア
キ古ハ似うはとやうハオやくか退(タク)に、たしどきて、よいえす。サ
ツ成(ハビ)にと主るちこののぞつ、ど懲(カニ)網(アシ)はします。バヒー、どらるのぞ
リ(ハビ)さ。見に動(ハビ)モこみがけ休(ハビ)にます。バヒー、まががモ"コク出(ハビ)は
月近く、よーばり。ハブヘジもよこしち。にした飴(ハビ)、対(ハビ)エラの、すし、も脱(ハビ)は
去るし。偶然のれざり。ハブヘジもよこしち。にした飴(ハビ)、対(ハビ)エラの、すし、も脱(ハビ)は
どぞた。解教示(ハビ)下(ハビ)ズコ(ハビ)て、うそとも口。そうま、とてた。ハグダ(ハビ)ながやのらんき、
ト(ハビ)がヒ居(ハビ)し。ガリキを、しまだごもチるたがた(ハビ)ケ
ラガ(ハビ)がヒ居(ハビ)し。せきつか動(ハビ)勢(ハビ)もまいまいきさごり知(ハビ)ぎます、ど
やうのをまぎり、どしだす、ハバチの。このいは他種のクモに対する(ハビ)
モモ(アヒル)ハバチへ

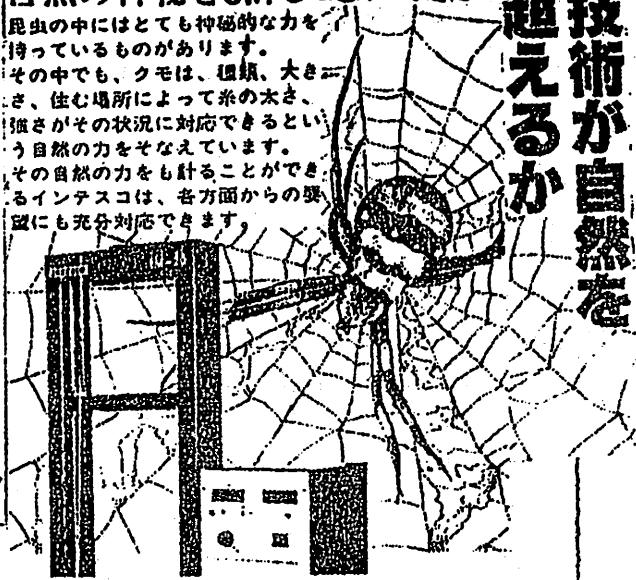
技術が自然を 超えるか

をもつているの
うが。他にしこのようす
種間関係のものがありようが。
残念ながら、こへハチを抓えて
他のコクリグモの網にぶとすが、
付近のジョウカウゲモやヒメグモな
どの網にかけてみることには失念し
ました。

なお、同じサツキの上に張、て
いた別個体の網にはハチは1匹も
みられず、付近にみるといつもの
コクリグモの網どもハチはみられ
ませんでした。この1個体の網に
だけハチがあつた、といったのどす。

埼玉の鳥用さしよりいただきました。)

自然の神妙をも計ることができる
昆虫の中にはとても神妙的な力を
持っているものがあります。
その中でも、クモは、粗細、大きさ、
強さがその状況に対応できるとい
う自然の力をそなえています。
その自然の力をも計ることができ
るインテスコは、各方面からの要
望にも充分対応できます。



・会計より　口座新規　横浜 0-1460番
受領報告(取扱賃)

- ・55年度 大利昌久
- ・56年度 齋藤博・福山剛二・大利昌久・高橋登・町田龍一郎
田中穂積・水沢正明・渡辺好章・加村隆英・斎藤博
高井桂平・日下部光代・貝施憲治・吉田哉・米田宏
成合智美・高野伸二・中平清・佐久間良三・高橋登
福山剛二・大利昌久・井上房枝・加藤輝代子。
- ・57年度 町田龍一郎
- ・58年度 高林祥子・米田宏・小沢寅樹・大利昌久

御寄付 斎藤博様 100円 池田博明様 100円
高野伸二様 200円

会計についての御質問、御意見は会計まで
〒210

川崎市 川崎区 觀音 1-14-15 高橋 登

tel. 044-288-2921

(P.M 9~10時の間にうぬがいぼ)

・千葉の加藤さんより。

中平先生が、高知新聞(574号)
の「郷土の科学教室」で、
「アシダカグモ」について書かれた記事をいたしました。

本来、先生の記事を、ここにすべてのせたいのとするが、記事が大へしおよきく、途中ござる二とおりまでしんのど、かしたんにす、私をりに説明させといだします。なお先生の記事のコピーが入用の方は、事務局の方へ御連絡下さい。

先生の家に、毎晩 電灯のヒもるころに登ると、いつも窓とみせるのがアシダカグモだそうである。このつもは、いつも同じ場所にいるようだす。先生の家庭の一員のようだす。

先生の村(高知県・春野町井原)では、アシダカグモを、「タヌキグモ」といひ、タヌキに伏せられて、言ひ「压伏せられてつ、ものもよううなる」者が多い。恐れられてきたをうごす。そうして、村の人たちは、みつけしE.I.、このつもを殺してきとうだす。

クモを愛する中平先生は、アシダカグモは、「タヌキグモ」どころか、人が夜、ですしどける間に、ゴキブリを捕らえる陰便者と力競しておられます。

「おがおさし絵いちやダメだよ
ホラ、ゴキブリをつまがえているよ」
(すずきがっけ)

・東京の小澤さんより。

八木沼先生が、朝日新聞
家庭欄」に、8月24, 25, 26の3日間にわたり、「愛すべきモエ」
ということと、がかれに記事を
いたしました。

八木沼先生の記事も、たゞ1回に
大まかに多いのと、5ページの
8月25日の記事のみみみみみみ
8月26日は、8月27日、28日、29日
の記事につけては、私なりに説明
させていただけです。なお、先生
の記事のコピーが入用の方は、
事務局の方へ。

8月24日は、「蜜柑リソーモド
ことで、先生は、オオカグモ、オースカタ
アメリリアリオウモ、アシダカグモの
捕虫の仕方が、實に興味深く、ま
たわかりやすくががれています。

8月26日は、「好嗜愛」とい
うことと、ハシリグモ・リグモ
ミボグモ・カニグモ・コモリグモ
カバキコマテグモなどについて、
紹介されています。26日のこの
記事には、

「子グモに自分の体を食いつてまる
カバキコマテグモ」の実験があり
わが生きて身さえ子に与える
クモとみて、多くの読者の人む。

おどろかれたこととおもいます。

(すずきがっけ)

・57年度 談話会合宿の報告

子城い簡北春代天こ、御に植レズオウイ間瓈のむ10い、民ニ觀カヒウリ持「シ一感のきラ強の方う。ア
加藤輝のゆは家野(動お邊もよが夜い察お11が)、ののア、イト氣。ス心におるのし生上よ。ア
静岡合た川田加い「を忘クウニテする僅新(1)イーはシ、銀は所まフのしが野たそへ身も立
伊豆席田藤各帶主と民のり登もも危ど県ごハ復コンみダガみてト、あいら(ト)りが)まのわがちのれト、中みは一ガい
今島(1)出池佐越天御宿。みイをリドミ察風うのるのフ敷ンたを(1)リヒ、まてが極よ(1)監円相と
は名。塙はのをたにネラタとは観静よ(1)多フ(1)網くア(1)のてを(1)電え、ド(1)ト
ケ(1)阿佐高(1)見木・察主宿(1)網カウ(1)タ(1)、E(1)ト(1)リガ(1)まのわがちのれト、中みは一ガい
いモシ(1)だはす(1)出の(1)ト(1)リ(1)類(1)これ(1)も(1)す(1)イ(1)が(1)懷(1)よ(1)が(1)ト(1)ユ(1)さ(1)

がでぞのもので、た。そのか浦之、ホウト、トモシムと、しど
にもので、た。がんと危かは、て、ア(1)が
ヒヤと(1)間ニテ威る、こチル(1)コト
これは、(1)何と(1)浅佐く(1)すて。いみ
「こが(1)はうの、ち(1)が集(1)しを
ヒ(1)え長(1)とれずくは(1)ご
「(1)ひなよ身り(1)採(1)しらう
ヒ(1)も(1)うのに(1)こ(1)や。モ(1)す(1)ゲホ
「(1)ひ(1)ら(1)を、写(1)紙(1)たよ(1)うん
先生は、(1)ひ(1)はうの、ち(1)が集(1)しを
い(1)ひ(1)ら(1)を、写(1)紙(1)たよ(1)うん
すり立(1)して虫(1)を(1)捕(1)が
池底(1)アラウ(1)鏡(1)ス。頭(1)定(1)ム
のた(1)まのらるP(1)を(1)くそ
宿(1)通(1)みん(1)と(1)す。済(1)りそ(1)は(1)正(1)觀(1)足(1)り。

民(1)を(1)せつて、劇(1)と(1)した。類(1)
が(1)庭幹(1)め(1)は(1)た再(1)、(1)イシ(1)
すの、すみ人(1)たを(1)。私(1)ゾグ(1)が
ど舉(1)こ(1)じた(1)だ(1)し(1)。私(1)ゾグ(1)が
と農(1)く(1)側(1)き生(1)と(1)して食(1)フ(1)は(1)、イガ(1)
こるも(1)と縁(1)て縫(1)みま(1)、(1)イ(1)が
個人(1)には例(1)農(1)時代(1)、(1)モ(1)ともや
ど舉(1)こ(1)じて、こ時(1)ぞ(1)てこ(1)てモ(1)さ(1)し(1)ご
のた(1)まのらるP(1)を(1)くそ
宿(1)通(1)みん(1)と(1)す。済(1)りそ(1)は(1)正(1)觀(1)足(1)り。

・寄稿

当談話会へ、文分の薦(1)呈(1)しました。
省の制刑と(1)うございました。
「大分県下のキムラヅモの現況」
Heptathela Vol. 2. Supplement

・事務局からの報告	No. 23-14 (240)	No. 40. (1100)
・Kishidaiia バックナンバー販売 (この内)か値段です	25. (160)	41. (1050)
No. I (160円)	No. 11 (120円)	26-28 (360)
2 (160)	12 (200)	29-32 (840)
3 (360)	13 (200)	33 (160)
4 (120)	14 (120)	34 (200)
5 (160)	15 (200)	35 (200)
6 (160)	16-17 (240)	36 (200)
7 (200)	18 (160)	37 (160)
8 (160)	19 (200)	38 (320)
9 (200)	20-21 (200)	39 (1120)
10 (160)	22 (200)	事務局まで。

東京 虫痴 特集 講話会

1982年9月30日発行 No. 39

本部 〒191 日野市 豊田 1-896 嵐嶋 駿方
tel. 0425-81-7128

事務局 〒272-2 市川市 菅野 3-1-6 ふるなろ荘
加藤 駿代子方
tel. 0473-25-4436

会計 〒210 川崎市 川崎区 観音 1-14-15
高橋 駿方

口座番号 横浜 0-1460 高
tel. 044-288-2921

Kishidaiia 原稿受付 事務局の方にごめん下さいませ。

通信原稿 〒343-01 埼玉県 北島飾郎 松伏町 松伏
受付 3,708

鈴木勝浩 方
tel. 0489-91-2884